



市民病院

八十ちゃん通信

問 市民病院管理課
☎(48)5050

市民いきいき健康講座を 開催します

市民病院の医師や看護師が講師となり、皆さんがいきいきと健康的な生活を送ることができるよう病気に関する知識や日々の暮らしのなかで実践できる予防法などを紹介します。

「市民いきいき健康講座」は12月から令和2年2月までに3回開催します。第1回は、摂食・嘔下障害看護認定看護師による摂食嘔下についてです。食べる機能の仕組みなどを紹介します。第2回はリハビリテーション職員による転倒予防教室についての講座です。転倒予防には、トマト、納豆、発酵食品だけではありません。ご期待ください。第3回は慢性呼吸器疾患看護認定看護師によるCOPDについての講座です。座って出来る運動などご紹介いたします。参加無料で予約不要です。興味のある講座だけの参加も可能です。是非ご参加ください。

日程

とき	内容
12月11日(水)	食べる機能のしくみと誤嚥 ～嚥下体操～
令和2年 1月22日(水)	転倒予防教室 ～最新研究で分かった 骨や筋肉だけじゃない 転倒予防には〇〇が重要！～
2月19日(水)	たばこが原因の肺の病気 ～COPDってなんだ！！～

※時間は11時～11時40分です。

ところ 市民病院



碧南の歴史へのいざない

問 文化財課内市史
資料調査室
☎(41)4566

No.66 はるか昔の大浜湊(3)

戦国時代以前に県内で「問丸」が確認されているのは大浜湊だけです（『国史大辞典』）。

伊勢湾内では、桑名、白子、伊勢大湊に「問丸」が確認されていますが、なかでも白子での初見は文明12（1480）年とみられます。一方、大浜湊の初見はそれより60年前の応永28（1421）年（称名寺文書）ですので、大浜湊の歴史は極めて古いといえます。

大浜湊は衣ヶ浦の入口にあって、大船・小船が入港し、年貢物などの物資を船積みしたり、陸揚げして保管したりといった風景が古くからあったのです。

やがて戦国時代の後半になると、西三河には松平氏がいるものの、西に織田信秀、東に今川義元がおり、松平氏は苦しい立場に置かれていました。

これ以前から大浜湊を含めた大浜は、在地の領主である長田氏が押さえ、この長田氏を松平広忠が従属下に置いたとみられます。

天文12（1543）年、下の宮の神主をしていた長田甚助が所有する神領の大半を売ったのに対し、松平

広忠は、今後このようなことをしたら、売ったほうも買ったほうにも成敗を加える、と売買を禁止しています。大浜下の宮は広忠の領有下にあったことが分かります。

そもそも下の宮は仁安3（1168）年長田白正が熊野大権現をまつって氏神と仰いだのが始まりとされ、長田氏が代々神主として奉祀していました。

当時の神主は武士であるのが普通でした。そのため、広忠は船手の要害として大浜に砦を築き、甚助の後の重元に在番を命じています。長田氏はまた在地の領主として、金融活動や海上交通路の警固を担っていた可能性があります。そうした長田氏を松平氏が押さえることで、平和が保障されない戦国時代において、大浜湊の安全が保たれていたのです。



△現在の大浜港